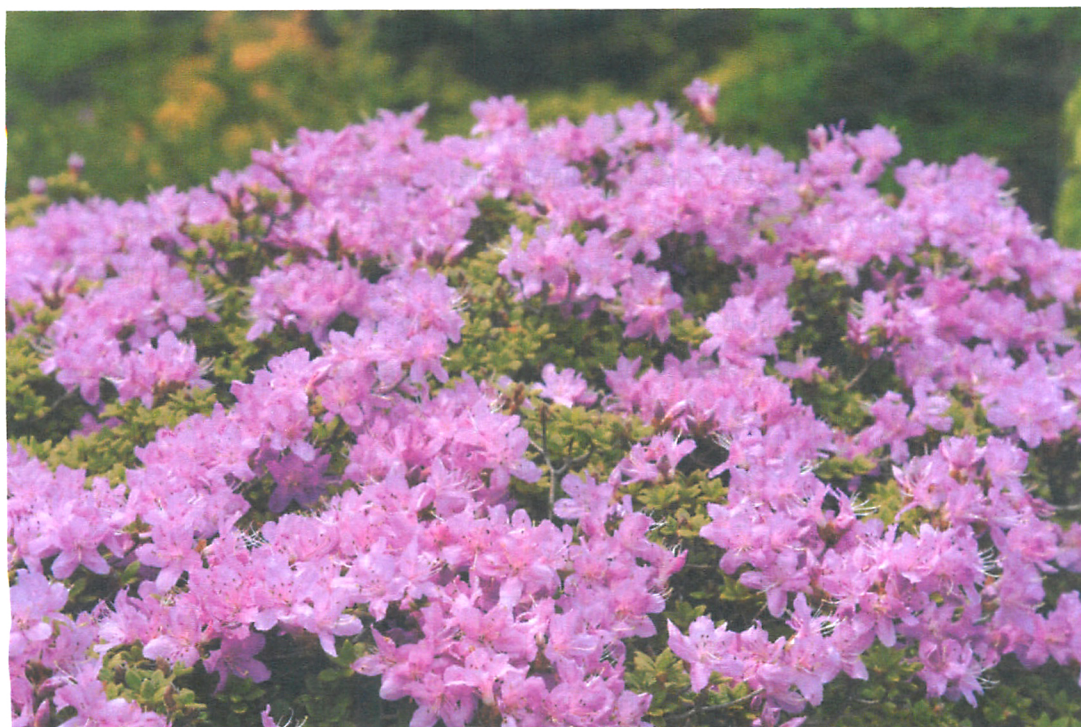


# 山のトイレ協議会通信

第20号



ミヤマキリシマ (photo by Katakoda)

目次	
定期総会・講演会のお知らせ	2
活動報告 久住分れトイレ周辺視察山行	3
特集 中期計画と、来年に向けた活動方針	8
第3回夏山フェスタ in 福岡	10
霧島連山携帯トイレ視察山行について	11

山のトイレ・環境を考える福岡協議会

## 《お知らせ》 定期総会&講演会について

平成30年度山のトレ協議会第10回定期総会及び記念講演について下記のとおり実施しますので是非ご参加ください。

記

1 期 日 平成30年7月8日(日) 13時から

12:30~ 受付

13:00~14:10 第10回定期総会

14:20~15:45

講演 『アラスカ垂直と水平の旅』

講師 栗秋 正寿 氏

略 歴 1972年福岡市に生まれる。修猷館高校山岳部に所属し、山歩きを始める。九州工業大学在学中の1995年7月山岳部の仲間と北米大陸最高峰のデナリ(マッキンリー)6194mに登頂。1998年3月8日デナリの冬季単独登頂及び帰還に、日本人で初めて成功(冬季単独登頂は世界で4人目、史上最年少)。下山後、リヤカーを引いてアラスカ縦断1400kmの旅を行っている。2007年冬季フォレイカー単独登頂(世界初)。植村直己冒険賞受賞。

15:50~16:20

講演 『くじゅうの自然観環境保全に向けて』

講師 尾登 憲治 氏

(日本山岳会東九州支部会員)

※講演会参加費 500円

2 会 場 福岡市立中央市民センター 2F視聴覚室

所在地 福岡市中央区赤坂2丁目5番8号 ☎092-714-5521

アクセス

地下鉄の場合 空港線「赤坂駅」2番出口を出て、赤坂西交差点を左折(徒歩約5分)

バスの場合 明治通り赤坂門バス停より、赤坂西の交差点を南へ徒歩約5分

国体道路警固町バス停より北へ徒歩約3分

車の場合 福岡都市高速「天神北」出口より約10分

※駐車場(有料)は台数に限りがございます。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

※ 講演会は会場の都合により70名迄とさせていただきます。

☆ 講演会終了後、17時30分から懇親会を予定しています。

参加費 4,000円程度

どなたでも参加OKです。山の自然保護等何でも語り合いましょ！

## 活動報告 《久住分れトイレ周辺視察山行》

2016年度から始まった九重山城の久住分れ避難小屋のトイレの視察山行は5回に渡り計画されましたが、2017年10月22日第4回久住分れトイレ視察山行及び2018年1月30日第5回久住分れトイレ視察山行は天候不順等のため実施できませんでした。特に問題視されていた冬季に閉鎖される久住分れトイレ周辺の環境への影響調査が実施できなかったのは、誠に不運な事でした。

しかしながら、多くの会員が参加した2016年10月27日(木)の第1回視察山行と2017年6月3日(土)の第3回視察山行に加え、第1回久住分れトイレ視察山行での中村仁氏(環境省くじゅう自然保護官)との意見交換会や2018年7月9日(日)第9回定期総会で発表された地元の尾登憲治氏制作のビデオ「山のトイレを何とかしたい!」や同氏のコメント及び久住分れトイレを管轄する大分県庁のホームページを基に久住分れトイレの現状をまとめてみました。

### ◎ 久住分れトイレの現状

久住分れトイレは久住分れにある避難小屋に併設されていたトイレを大分県が2004年度に自然環境に配慮したバイオトイレに改築したものです。2012年には、雨天時にも支障なく稼働するよう、太陽光パネルと蓄電池を増設し、発電量を増加させています。

また、利用者の協力金により維持されており、定期的に清掃が行われているようです。しかし、課題もいくつかあります。久住分れは人気の高い久住山に向かうルート上にあり、法華院温泉や長者原登山口に下る分岐点でもあるため、トイレは多くの登山者・観光客に利用されています。特にミヤマキリシマが咲き誇る時期には写真のように長蛇の列ができます。久住分れトイレ周辺の状況の詳細は『久住分れ調査登山の報告 2017年6月3日(土)』(参考資料1)を見て下さい。

久住分れトイレ特有の問題点としてトイレを洗浄する水が足りないということがあります。久住分れトイレ近くには水源がないため、天水を溜めて、水を循環させてトイレの洗浄を行っているのです。その天水を溜めるタンクが小さく、夏場に雨が降らなかつたり、利用する登山者や観光客が多くなる

とどうしても水が足らなくなり、トイレが詰まったり、清掃が十分に行えずトイレが汚れるという事態が起こっているようです。このような久住分れトイレの水不足に対応するため、大分県は昨年『山のトイレをキレイに使い隊運動』を行っています（参考資料 2 参照）。また、久住分れトイレの場合、1 2 月頃～3 月頃は洗浄水凍結のため閉鎖されるといった問題が生じています。（K・I）



2017年6月3日久住分れトイレ利用者の長蛇の列（photo by Katakoda）

※参考資料1 久住分かれ調査登山の報告 2017年6月3日（土）（CL 平田眞介）

参加者：21名

7：00 天神日銀前を出発。山田 SA にて各自自己紹介を行う。

10：15 牧ノ戸峠着 10：25 出発

登山隊を「扇が鼻」までの隊・「久住分れ」までの隊・「久住山頂」までの隊

以上の3隊に分ける事とする。牧ノ戸峠は登山者でかなりの人が行き来していました。

扇が鼻分岐にて「扇が鼻隊」と別れる。

11：15 久住分れトイレ前に到着。「久住分れトイレ隊」の皆さんに調査票を渡し、調査の方法などを確認して久住山頂に向けう。

12:20 久住山頂に到着。山頂には登山者で溢れ、100名近くは居たと思います。山頂周辺での用足し現場が無いか見て回る。周囲は見晴らしが良く、人も多いため用足しの跡は見当たりませんでした。

随時下山開始、12:55 下山中もツアー登山と思われる一隊が4~5組ほどありました。

久住分れトイレ前に到着。

トイレ調査隊に1時間当たりのトイレ使用者の数やトイレの状況などを聞く。報告の最後に「尾登さん」からの報告を聞く。

13:20 下山開始

14:25 牧ノ戸峠着

14:50 牧ノ戸峠からバスに乗り、温泉を探すが、一般者不可・本日休業・閉店などで結局温泉は入れませんでした。

17:45 天神日銀前に到着。 全員ケガもなく解散しました。

【報告書1】 調査時間 12:00~13:00

使用人数 女性:107名 男性:81名

\* 周囲の状況について 使用済ペーパーは見当たらない。ゴミの散乱は見られた。

協力金は90%以上、男女共に入れていた。

女性用のトイレは1基が詰まった状態で使用出来なかったが、その後流れていたとの事、使用頻度が高いと対応できなくなるのではないか。

【報告書2】

\* 牧ノ戸峠から扇が鼻まで歩きました。

行は、牧ノ戸峠のトイレで用を済ませているため、横のヤブの中で用を足す人はなかったようです。下山の途中、男性の方が立ションをしていました。

使用済みの紙も見ること無かったです。

【報告書3】

\* 調査票の・周辺での排泄・ゴミの散乱状況などは一切見当たらず。

山開きの前日で、清掃していたかもしれない。

【報告書4】

\* 久住分れトイレ周辺について調査。周辺での排泄については見当たらなかった。しかし、少し古いものと思われるペーパーの跡は2~3か所ありました。

古いパンツも(子供用)

トイレの清掃については丁度久住町から依頼された方が清掃した後でした。

## 平成29年度山のトイレをキレイに使い隊運動について

阿蘇くじゅう国立公園内にある「久住山」への登山ルートである「久住分かれ」において、自然環境に配慮したトイレを平成16年度に改築しました。

本トイレは、牧ノ戸登山口から約2時間の山岳地にある避難小屋に併設されたもので、多くの登山者・観光客に利用されています。また、利用者の協力金により維持されており、定期的に清掃を行っています。

今回、マナーを守りトイレをキレイに使っていただくよう啓発を行うとともに、登山客に協力をいただきながら水を現地まで運ぶことで、トイレの徹底清掃を行うことを目的として、本運動を実施しました。

### 実施日時

平成29年11月23日（木曜日）（勤労感謝の日） 8時00分～12時00分

### 実施内容

#### (1) 「久住分かれ」トイレの利用方法等について啓発

以下の内容のとおり、啓発を行いました。

（「久住分かれ」トイレの利用方法等）

- ・清潔なトイレの環境を維持するため、マナーを守ってご利用ください。
- ・本トイレは、緊急避難用のトイレです。できるだけ、登山口で用を済ませてください。
- ・本トイレは、水を循環させて水洗を行っています。トイレ利用が多い際に、水が流れにくくなる場合があります。ご了承ください。
- ・本トイレは、洗浄水凍結時（12月頃～3月頃）は、閉鎖しますので、ご注意ください。
- ・本トイレの汚れがひどい場合には、お手数ですが、大分県自然保護推進室（097-506-3022）までご連絡ください。

#### (2) ペットボトル運搬への協力依頼

「久住分かれ」には、トイレ清掃に利用する「水」がありません。登山者3

7名にご協力いただき、「久住分かれ」まで、約28リットルの水を運搬していただきました。

### 実施主体

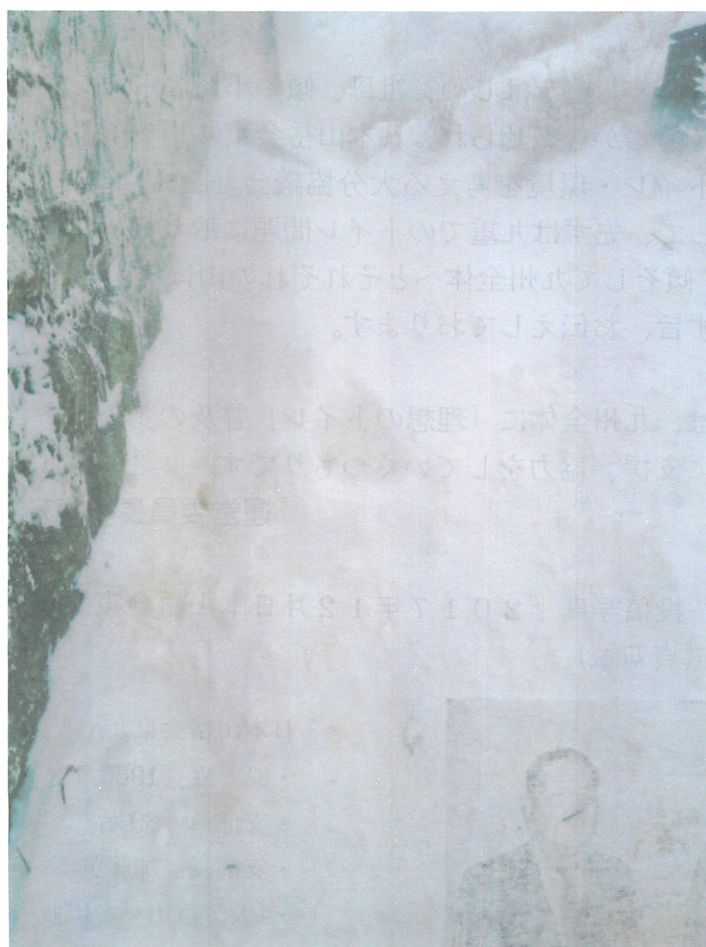
主催：大分県生活環境部自然保護推進室

協力：環境省阿蘇くじゅう国立公園くじゅう管理官事務所

竹田市役所久住総合支所

長者原ビジターセンター

※参考資料3 投稿写真『冬季閉鎖期間中の久住分れトイレ裏側の状況』



久住分かれ避難小屋の裏、雪が降っている為判りにくいですがしっこのあとが多数あります。（貞苺誠）

## 特集 「中期計画と、来年度に向けた活動方針」

我々、『山のトイレ・環境を考える福岡協議会』は、県内の登山者に人気の福智山、宝満山、英彦山と地元の方々と共に協議しながら山のトイレ問題に取り組み、バイオトイレの設置に関わってまいりました。然しながら県内にはまだ多くの山でトイレの問題があるものの、九州の登山者の聖地ともいえる九重でのトイレ問題の解決が、その後の九州各地の山のトイレ問題の解決に良い意味で多大な影響をもたらすものと推測いたします。

中期的に福岡協議会は、多くの福岡県民の登山者が足しげく通う、九重、祖母、傾の大分県の山での「理想のトイレの形」の実現に向け、大分県の登山団体や自治体などと連携し、協力、支援をいたします。

現在、大分県内の九重をはじめ、祖母、傾の小屋のトイレ問題が小屋番さんや管理する自治体から寄せられ、日本山岳会東九州支部長 加藤氏を中心とした『山のトイレ・環境を考える大分協議会』設立に向けた動きがあり、福岡協議会として、先ずは九重でのトイレ問題に取り組み、解決し、それを突破口に祖母、傾そして九州全体へとそれぞれの山に応じた「理想のトイレ」の普及を目指す旨、お伝えしております。

福岡協議会は、九州全体に「理想のトイレ」普及の為、大分協議会設立に対し、全面的に支援、協力をしていくつもりです。

運営委員長 貞苺 誠

※参考資料 4 投稿写真『2017年12月日本山岳会東九州支部長加藤氏との初会合』（貞苺誠）



日本山岳会東九州支部の概要

- ・設 立 1960年
- ・支部員 69名
- ・支部長 加藤英彦
- ・「大分百山」を出版



※参考資料 5 日本山岳会東九州支部の動き（平成 30 年 4 月 21 日緊急提案）

## 山のトイレ問題の改善、改革に

東九州支部として行動を起こすことを提案します。

いま、この世は、“トイレ大革命”の時代に入っています。

先日 NHK の「クローズアップ現代」で特集が組まれていました。2020 年の東京オリンピックを念頭に成田空港では約 50 億円をかけて空港トイレの大改修が行われています。トイレは国の表玄関というわけです。空港だけではなく、世界遺産の各地、例を挙げると宮島の厳島神社では 3 億円で”おもてなしトイレプロジェクト”が進行中。数多くの地方自治体でも公園の公衆トイレを改善して公園のイメージや価値を高めようとしています。公園に限らず、公衆トイレは街の品位を示すベンチマークという考え方です。そして街の公衆トイレは多様化するニーズにあわせてキメ細やかな機能を持つトイレに作り変えるという方向にあります。中国やインドも同様です。

一転して山のトイレはどうでしょうか。

多くの言葉はいらないでしょう。皆さんよくご存知のはずです。山のトイレ問題の改善は大きく社会の流れから取り残されようとしているのです。

一時期バイオトイレが夢のトイレとして各地の山小屋等で導入されました。しかしその多くは、うまく行っていません。原因は色々ありますが、それらの失敗例を教訓に今、一旦ゼロベース的思考で山のトイレ問題を考え直す時期が来ていると痛感します。社会が公衆トイレを見る目が、山にも及ばないわけはありません。しかし、山の特殊性も考慮しなければなりません。気温、水、電気、使用状況の偏り（時々オーバーユース）等、そして肝心な後処理、つまり糞尿の処理。

その山の「顔」としての山のトイレをどうするか。外国の登山者が数多く来るようになったくじゅう連山や由布山、またユネスコのエコパークに登録された祖母・傾・大崩など、大分県にとっても放置できない問題です。福岡県には「山のトイレ、環境を考える福岡協議会」という組織があります。多くの山岳会や個人、県の山岳連盟や勤労者山岳連盟も所属し、この問題について考え、行動し、社会に対して一定の働きかけをしていこうという組織です。久住分れのバイオトイレについても実際に何度も視察し、議論の対象にしています。

そこで提案です。

- ① 福岡県の「山のトイレ、環境を考える福岡協議会」と同様な「山のトイレ、環境を考える大分協議会」（仮称）を日本山岳会東九州支部が中心になって大分県にも結成し、福岡協議会と連携して運動を広げること。
- ② 大分県において、この問題は喫緊の課題であることを考えると、行政と連動することが極めて重要でないか、つまり行政にも大分協議会に入ってもらい。登山愛好者（市民、研究者）と行政が連携して
- ③ 議論した内容や情報、そして提言を広く社会に発信して社会的なコンセンサス形成することを大きな目標として掲げること。

## 第3回 夏山フェスタ in 福岡

6月23日(土)・24日(日) 電気ビルみらいホール

12:00~19:00 9:30~18:30 福岡市中央区渡辺通2-1-82

### セミナースケジュール

6/23(土) (ホール)

12:00 開場

13:00 「遭難事故の現場より報告」 講師 岸本俊朗(長野県警察本部地域部)

14:15 夏山登山に向けて「登山者に必要な体力とトレーニング」 講師 山本正嘉

15:40 「安全に山歩きを楽しむために」これだけは知っておこう!~

16:40 山小屋オーナー座談会 [剣沢小屋、槍ヶ岳山荘、蓼科山頂ヒュッテ] 司会 磯野郷太

6/24(日) (ホール)

9:30 開場

10:00 GPSアプリの使い方 講師 YAMAP

11:20 「海外トレッキング入門 その魅力」 講師 渡部秀樹(日本山岳会福岡支部)

13:00 「心に残る山々」 講師 小林千穂(山の日アンバサダー)

15:40 「重廣恒夫のヒマラヤ登山塾 ヒマラヤ登山の13回の経験から」

17:00 「水の屋久島・緑の浮島に暮らして」 講師 吉原哲士(屋久島公認ガイド)

6/24(日) 3階E会議室

10:00 夏山の装備とウェア(登山の3種の神器とは)

11:00 夏山のアクシデントに対応するための安全対策講座

12:00 地形図とコンパスの使い方(目的地に迷わずに行こう)

13:00 簡単な体力トレーニング(山筋ゴーゴー体操)

14:00 登山計画の立て方と登山アドバイス(夏山計画の相談)

15:00 くじゅうの山のトイレ事情と携帯トイレの使い方

山のトイレ協議会

16:00 山で写真を楽しむ(登山時の撮影のコツ)

☆ 大抽選会 23日(土)17:30~・24日(日)17:50

JACで行く屋久島往復航空券、登山グッズなど景品盛り山!

## 特別企画 《携帯トイレ視察山行【霧島1泊2日】》

会員の皆様へ。

山のトイレ問題を解決する方法として携帯トイレの活用があります。

そこで、この度、霧島連山の携帯トイレについてその導入の経緯及び利用状況を調査するため下記のとおり視察山行を実施しますのでご参加ください。

期日 平成30年10月27日（土）～28日（日）

### 1 視察対象

- ① 高千穂峰山頂にある携帯トイレ専用ブース、高千穂河原駐車場トイレに併設してある携帯トイレ回収ボックスの  
実地体験・見学
- ② 高千穂河原ビジターセンター、えびのエコミュージアムセンターで霧島連山の携帯トイレについてその導入経緯及び利用状況について説明を受ける予定です。

### 2 概算費用

参加費 15,000円  
(交通費、宿泊費を含む)

### 3 登山班と観光班に分れて行動します。



※ 計画の詳細は後日、通知します。なお、霧島連山では新燃岳及び硫黄山で活発な火山活動が続いているため状況により計画を変更する場合があります。

## 山のトイレマナーと環境にやさしい登山を

- ・山に入る前には麓のトイレで用を足しましょう
- ・山中では設置のトイレで用を足しましょう
- ・トイレにゴミは捨てないようにしましょう
- ・公衆トイレがない山では携帯トイレを使いましょう
- ・やむを得ず山中(トイレ以外)で排泄する時は  
穴を掘って埋めるなどの処理をしましょう
- ・使用済みのペーパーは必ず持ち帰りましょう
- ・花を手折ったり、盗掘はやめましょう
- ・登山時のゴミは持ち帰りましょう

山のトイレ・環境に関する情報や会員皆様の活動報告、ご意見を募集しています。

原稿の送り先 [trek99@chic.ocn.ne.jp](mailto:trek99@chic.ocn.ne.jp) 又は下記の九州登山情報センター内まで

山のトイレ・環境を考える福岡協議会

運営委員会事務局(山のトイレ通信担当) 池松和弘

### 編集後記

理想の山のトイレとは？バイオトイレそれとも、携帯トイレ？どちらも一長一短があり、山域ごとに、そして時代と共に変わっていくだろう。大事なものは自然保護に対する意識の高さ、山のマナーを守ることだと思う。(K・I)

山のトイレ協議会通信 第20号

発行日 2018年5月25日

山のトイレ・環境を考える福岡協議会

〒818-0115

太宰府市内山708番地

九州登山情報センター内

☎ & F A X 092-928-2729(水・木曜休)